

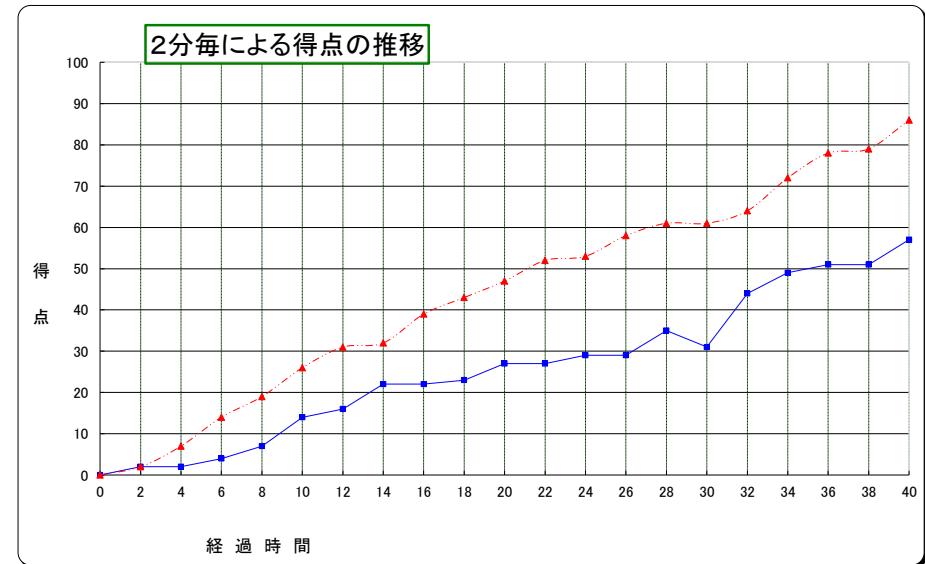
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
毎日興業アリーナ久喜  
女子1回戦 C1

チームA			チームB
県立萠崎 (山梨)	57	{ 14 1st 26 13 2nd 21 11 3rd 14 19 4th 25 }	86
		}	土浦日大 (茨城)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	山口あすか	4	0	0	2	6	0	0	5	3	3	0	5	1	1
5	平山 寧々	0	0	1	0	4	0	0	1	0	3	0	3	1	1
6	森本あかり	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	功刀 憂珠	0													
8	小坂 彩乃	22	0	2	10	13	2	4	5	5	8	0	0	0	7
9	高橋なつき	0													
10	杉本亜友華	9	1	4	3	7	0	0	5	2	0	0	2	1	3
11	石川なつめ	15	5	22	0	1	0	0	2	0	4	0	0	0	7
12	一瀬さやか	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	志村 実優	2	0	1	1	3	0	0	1	1	1	0	0	0	1
14	相原 来夢	5	1	1	1	5	0	0	3	0	0	0	0	1	3
15	稀代 杏子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
16	吉田 陽香	0													
17	福島 稚菜	0													
18	高瀬 有彩	0													
コーチ	逆瀬川 慶文														
		57	7	32	17	41	2	4	22	11	20	0	10	4	24
		確率	21.9%		41.5%		50.0%			計 31					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	山下 涼香	15	0	1	5	14	5	8	3	2	2	0	2	3	0
5	大久保和奏	15	3	5	3	7	0	0	1	0	5	1	3	0	4
6	伊藤 未羽	11	1	1	3	5	2	2	0	0	0	1	1	0	2
7	児玉 志織	18	3	6	3	11	3	5	0	3	5	3	1	1	4
8	戸塚 咲	5	0	0	2	2	1	2	1	0	2	0	1	0	1
9	五十嵐 稔	0													
10	廣瀬 実子	11	0	0	4	7	3	3	0	5	3	0	4	0	1
11	石嶋奈都美	0													
12	中村 百花	8	2	5	1	2	0	3	3	0	2	1	0	0	3
13	川崎梨香子	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
14	軍司 夏美	0													
15	稲葉 美穂	0													
16	野口 菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
17	竹上 嘉乃	0													
18	中野 莉子	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	三須 由雄														
		86	9	19	22	49	15	25	8	10	21	6	12	4	17
		確率	47.4%		44.9%		60.0%			計 31					



## 戦評

第1P 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。土浦#10のリバウンドシュートで幸先よく先制するも、萠崎もピック&ロールから#8のシュートで最初の点数を挙げる。その後お互いミスが続く、開始3分で萠崎が1回目のタイムアウト。しかしタイムアウト後、流れをつかんだのは土浦日大。#4、#10を起点にオフェンスが巧く機能しはじめ、#6のジャンプシュート、#5の3p、合わせのプレイなど多彩に得点を重ねリードを広げる。萠崎もドライブからのキックアウトで果敢に3pを狙うがシュートの確率が上がらず、14-26で12点のビハインドを背負う。

第2P 巻き返したい萠崎はディフェンスのローテーションを早め土浦日大のミスを誘う。攻めでは#8のジャンプシュートや#10のドライブなどで加点リズムを掴むかには見えたが、速攻からのイージーシュートが落ちるなど中々リズムに乗りきれない。土浦日大はオフボールでしっかり動き、良い形でシュートを打ち続け、#4が着実に点数を重ねる。ディフェンスでもボールマンプレッシャーを強め、確実なリバウンドからの速攻でリードを広げていく。残り4分、22-39となったところで萠崎が前半2回目のタイムアウト。しかし、その後も土浦日大の流れは変わらず#5の3pやオフボールスクリーンから#4が正確にシュートを決め、47-27と大量リードを奪い前半を終える。

第3P 挽回を図りたい萠崎だが土浦のプレッシャーディフェンスに苦しめられ、オフェンスにリズムが生まれにくい。対する土浦日大は後半も#4が活躍を続けるだけでなく、#7も3pやバスケットカウントなど縦横無尽な活躍を見せ、萠崎に付け入る隙を与えない。中盤以降メンバーチェンジを行う土浦に対し、萠崎も#8のリバウンドシュートや#10の3pなどで加点し第3pを終える。

第4P 萠崎は交代でコートに入った#14の懸命なディフェンスが火を点け、#10のアグレッシブなドライブや#11の3pなどで追い上げを図る。しかし、土浦日大も堅実なプレイで主導権を譲らず、結局86-57で土浦日大が勝利し、2回戦に進出した。萠崎の果敢なプレイも印象的だったが、土浦日大の鍛えられたディフェンスと正確なシュート力がより光る試合であった。

記入者 飯野 英利

Ref 山岸 大輔

1st U 小森 葉子

2nd U